

日本電波工業株式会社

第 76 期中間報告書

(2016年4月1日～2016年9月30日)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第76期第2四半期（2016年4月1日～2016年9月30日）の事業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く事業環境につきましては、スマートフォン（スマホ）市場が成熟期に入ったと見られる中、水晶デバイス市場では、スマホに使用されるTCXO（温度補償水晶発振器）並びに温度センサ内蔵水晶振動子の需要が伸びております。

このような事業環境の下、移動体通信市場向け分野では、TCXO市場向け超小型化商品（1612サイズ）のラインを立ち上げました。また、移動体通信向けSAW（弾性表面波）デバイスのラインも立ち上げ、それぞれ販売を開始しました。これに加えて中国のスマホメーカー向け販売が増えたことにより、スマホ市場の減速や円高の影響を補い、移動体通信市場向け商品の売上高は前年同四半期比で増加しました。但し、TCXO及びSAWの増産に伴う初期費用計上などにより、販売増による利益への貢献は第3四半期以降を見込んでおります。車載用高信頼性商品は、販売数量は伸びたものの、価格競争の激化により、前年同四半期比で売上高は減少し、利益は横ばいで推移しております。一方、産業用高付加価値商品は、昨年度上期における携帯電話基地局用途での生産調整がありましたが、その後需要が戻り、前年同四半期比で売上高は増加し、収益性は改善しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は216億2千6百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は2億2千9百万円（前年同四半期比4,714.2%増）、税引前四半期利益は1億1千3百万円（前年同四半期比106.3%増）、四半期利益は7千2百万円（前年同四半期比173.8%増）となりました。また、円高の影響により在外営業活動体の換算損益が16億4千8百万円減少する等、税引後その他の包括損失が16億8千5百万円となったことから、四半期包括損失合計は16億1千2百万円（前年同四半期は四半期包括損失合計8億2千4百万円）となりました。

当社グループにおきましては、今後は上期に立ち上げました1612サイズTCXOとSAWデバイスに加えて需要が増加する温度センサ内蔵水晶振動子とADAS向け等車載用水晶振動子の生産体制を強化すること等により、商品の一層の拡販を図り、当期の売上高450億円・営業利益8億5千万円を実現するために引き続き総力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

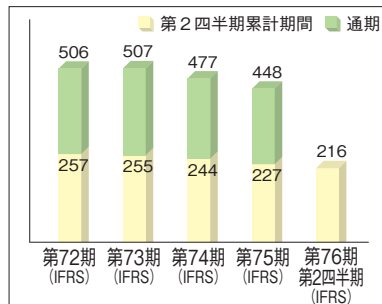


代表取締役会長兼社長 竹内敏晃

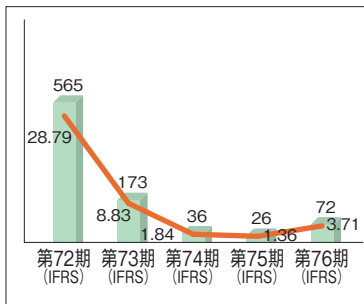
2016年12月

財務ハイライト（連結）

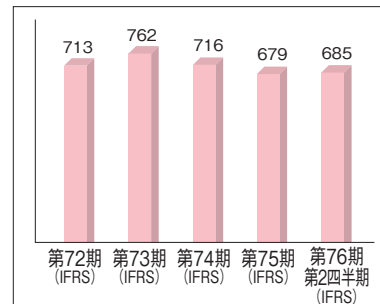
・売上高（単位：億円）



- ・四半期利益(第2四半期連結累計期間)(単位：百万円)
- ・基本的1株当たり四半期利益(第2四半期連結累計期間)(単位：円)



・総資産額（単位：億円）



(注) 第72期、第73期の数値は、会計方針の変更による遡及適用後の数値となっております。

四半期連結財務諸表（国際会計基準）

四半期連結財政状態計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	期 別 前連結会計年度 (2016年 3 月31日現在)	当第 2 四半期 連結会計期間末 (2016年 9 月30日現在)
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	40,886	40,292
現金及び現金同等物	17,161	17,292
営 業 債 権	10,390	10,235
棚 卸 資 産	10,621	10,517
未収法人所得税等	5	62
デリバティブ資産	373	315
そ の 他	2,334	1,868
非 流 動 資 産	27,080	28,264
有形固定資産	23,504	24,896
無 形 資 産	1,041	996
投資有価証券	839	798
繰延税金資産	1,101	995
そ の 他	594	577
資 産 合 計	67,966	68,556

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	期 別 前第 2 四半期連結累計期間 (自2015年 4 月 1 日 至2015年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自2016年 4 月 1 日 至2016年 9 月30日)
売 上 高	22,748	21,626
売 上 原 価	18,551	17,362
売 上 総 利 益	4,197	4,264
販売費及び一般管理費	3,534	3,162
研 究 開 発 費	947	987
そ の 他 の 営 業 収 益	447	200
そ の 他 の 営 業 費 用	157	85
営 業 利 益	4	229
金 融 収 益	206	84
金 融 費 用	156	200
税引前四半期利益	54	113
法 人 所 得 税 費 用	28	40
四 半 期 利 益	26	72
税引後その他の包括損失(△)	△ 851	△ 1,685
四半期包括損失合計(△)	△ 824	△ 1,612

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科 目	期 別 前連結会計年度 (2016年 3 月31日現在)	当第 2 四半期 連結会計期間末 (2016年 9 月30日現在)
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	25,478	25,932
借 入 金 等	17,254	15,098
営業債務その他の未払勘定	7,373	9,967
デリバティブ負債	83	9
引 当 金	32	—
未払法人所得税等	165	129
そ の 他	570	726
非 流 動 負 債	16,788	18,732
借 入 金 等	12,008	14,049
繰延税金負債	430	418
従業員給付金	3,827	3,808
引 当 金	91	51
政府補助金繰延収益	180	155
そ の 他	249	249
負 債 合 計	42,266	44,665
(資 本 の 部)		
親会社の所有者に帰属する持分	25,700	23,891
資 本 金	10,649	10,649
資 本 剰 余 金	8,563	8,563
その他の資本の構成要素	△ 174	△ 1,859
利 益 剰 余 金	6,660	6,537
資 本 合 計	25,700	23,891
負債及び資本合計	67,966	68,556

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	期 別 前第 2 四半期連結累計期間 (自2015年 4 月 1 日 至2015年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自2016年 4 月 1 日 至2016年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,907	2,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 433	△ 1,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,552	△ 253
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	921	906
現金及び現金同等物の期首残高	14,364	17,161
為 替 変 動 に よ る 影 響	△ 177	△ 775
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,108	17,292

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

NDK製品の主な用途

超音波探触子

超音波（エコー）診断装置のセンサとして、腹部、産科、循環器領域の診断に幅広く用いられています。



病院

衛星通信・放送

超高安定水晶発振器

携帯電話の基地局において、携帯電話に送る電波を安定させる、いわば心臓部といえる働きをしています。



データセンター

超小型水晶発振器

携帯電話が送信する電波、受信する電波を安定化させます。



移動体通信基地局

サーバ

無線LAN

プロジェクタ

パソコン

複合機

ロボット

Town

Office

Environment

QCMセンサ

水晶をセンサとして用いることで、食品・医療・環境などの研究分野で微量の質量の物質をリアルタイム・高感度・高精度に計測・解析することができます。



SAWデバイス

私たちの周りには、たくさんの電波が飛び交っています。その中から通話やメールに必要な電波だけを選択する機能を有しています。



携帯電話

水晶振動子

TV放送の電波を受信したり、デジタルカメラ、ゲーム機の中のマイクロコンピュータが情報の受け渡しをする際のタイミングをとっています。



水晶振動子

エンジンコントロールやエアバッグ等のクルマの安全に直接関わる部分から、ETC、カーナビ、GPSなどの通信機器に至るまで、幅広く使用されています。



Home

電子ブック

ゲーム機

3DTV

スマートメーター

デジタルカメラ

Blu-ray

Traffic

路車間通信

車車間通信

電気自動車

GPS・カーナビ

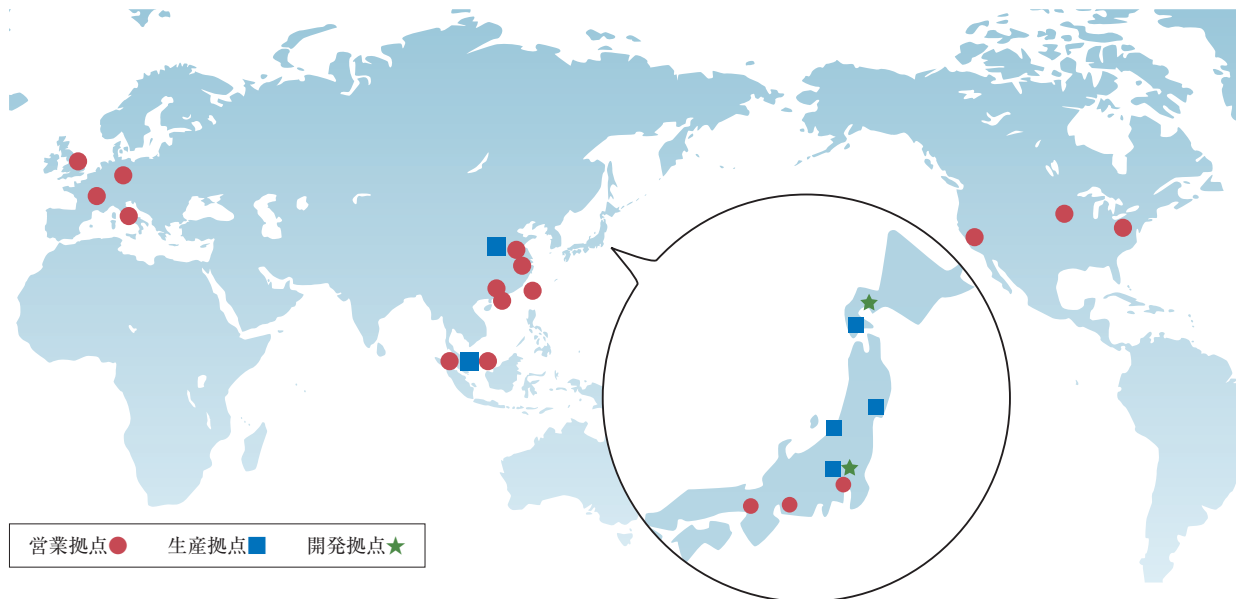
エアバッグ

エンジンコントロール

ETC

ETC

NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 大阪事務所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エス・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
- 函館エス・デー・ケー株式会社（北海道函館市）
- 新潟エス・デー・ケー株式会社（新潟県新潟市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- EASTERN U.S. REGIONAL OFFICE（アメリカ・ペンシルバニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK EUROPE LTD. GERMAN OFFICE（ドイツ・シンスハイム）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 日本電波工業（香港）有限公司（中国・香港）
- 香港商日電波有限公司台北分公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日本電波工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- 蘇州日電波工業貿易有限公司（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日本電波工業有限公司（中国・蘇州）

中間配当に関するお知らせ

2016年11月7日開催の当社取締役会において、第76期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）中間配当に関し、下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

記

当社定款の規定に基づき、2016年9月30日を基準日として、次のとおり中間配当金を支払う。

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 中間配当金 | 1株につき10円 |
| 2. 中間配当の効力発生日
(支払開始日) | 2016年12月12日 |

以 上

◎中間配当金のお支払いについて

第76期の中間配当金は、同封の「中間配当金領収証」により、払渡期間内（2016年12月12日～2017年1月13日）に、お近くの「ゆうちょ銀行」または「郵便局」でお受け取りくださいますようお願い申しあげます。

また、銀行振込をご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「中間配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

◎Information

当社WEBサイトのご案内

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。水晶の特性や水晶デバイスの役割等を説明した「水晶の世界」という特設ページもございます。ぜひご覧ください。



NDK

検索

<http://www.ndk.com/jp>



● 製品・技術情報



<http://www.ndk.com/jp/products>

● 投資家の皆様へ



<http://www.ndk.com/jp/ir>

会
 社
 の
 概
 要
 (
 2016年9月30日現在
)

商
 号
 日本電波工業株式会社

英
 文
 社
 名
 NIHON DEMPA KOGYO CO., LTD.

設
 立
 1948年4月15日

資
 本
 金
 106億円

従
 業
 員
 892名

主
 要
 製
 品
 産業用水晶振動子、民生用水晶振動子、水晶発振器、水晶フィルタ、SAWデバイス、信号発生器、周波数シンセサイザ、超音波探触子、人工水晶、光学用デバイス、QCMセンサ

役
 員
 (
 2016年9月30日現在
)

会 社 に お け る 地 位	氏 名
代表取締役会長兼社長 執行役員社長	竹 内 敏 晃
取締役副社長 執行役員副社長	加 藤 啓 美
取締役執行役員 常務執行役員	土 谷 雅 宏
取締役執行役員	成 瀬 純 一
社 外 取 締 役	立 光 武 彦
社 外 取 締 役	島 田 博 文
常 勤 監 査 役	半 田 重 夫
社 外 監 査 役	剣 持 昭 司
社 外 監 査 役	諏 訪 頼 久

株
 主
 メ
 モ

事
 業
 年
 度
 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定
 時
 株
 主
 総
 会
 毎年6月

基
 準
 日
 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

単
 元
 株
 式
 数
 100株

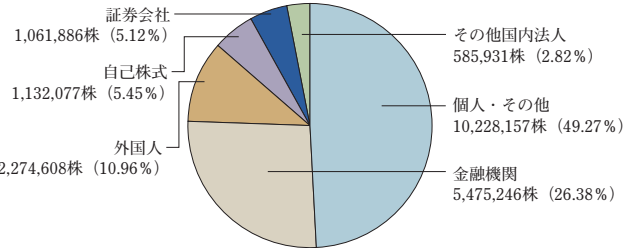
公
 告
 方
 法
 電子公告（予備的公告方法は日本経済新聞）

公
 告
 掲
 載
 URL
 http://www.ndk.com/ir

株
 式
 の
 状
 況

発 行 可 能 株 式 総 数	40,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	20,757,905株
株 主 数	10,221名

所有者別株式数分布状況



大
 株
 主
 の
 状
 況

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,029	5.24
株 式 会 社 り そ な 銀 行	667	3.40
丸 三 証 券 株 式 会 社	652	3.32
竹 内 敏 晃	622	3.17
株 式 会 社 埼 玉 り そ な 銀 行	610	3.10
竹 内 寛	528	2.69
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	426	2.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	388	1.98
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	318	1.62
東京海上日動火災保険株式会社	315	1.60

(注) 自己株式につきましては、上記の表から除外しております。
 出資比率は、発行済株式総数から自己株式の数を控除して算出しております。

株主名簿管理人
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)
 電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

上場証券取引所
 東京証券取引所市場第一部

証 券 コ ー ド
 6779